

競技会のコンセプト | Concept of Competition based on Formula SAE®

全日本学生フォーミュラ大会は、学生たちが企画・設計・製作したフォーミュラスタイルの小型レーシングカーで競技を行います。この大会は、米国で1981年から毎年開催されている Formula SAE® (SAE International 主催) にならって開催するものです。

大学、短大、高専等の学生がチームを組み約1年かけて製作した車両を持ち寄り、コスト、プレゼンテーション、設計の静的イベント、車検、アクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス、エンデュランスの動的イベントを4日間にわたって行い、車両性能だけでなくものづくりの総合力を競います。そして、優秀なチームを表彰します。

学生たちは、アマチュア週末レーサーに販売することを仮定して車両を製作します。したがって、加速性能、ブレーキ性能、操作性、耐久性能が優れているだけでなく、美しさ、快適さ、低コスト、メンテナンス性を高めることも要求されます。また、一日あたり4台の生産計画のもとに、その車両の実質コストはUSD25,000以下としています。さらに、車両製作にあたっての車体フレームとエンジンに関する制約は必要最小限にすることによって、学生の知識や独創性や構想力が発揮できるように配慮しています。

これらの狙いと目標に適合した車両を設計・製作するために学生チームは挑戦します。学生たちは、車づくりを通して実践的な問題解決力や応用力、旺盛な行動力やマネジメント能力など教室では培うことが難しい貴重な経験を積むこととなります。

大会運営の基本方針 | General Policy on Operation Competition

大会運営の最優先事項は、事故のない安全な大会です。そのためには、大会スタッフとチームメンバーとの意思疎通を良くすること。規律のある言動を重視します。

4回目を迎える今年の大会は、初めて海外チームの参加制限のないオープンな大会となります。さらに、海外チームをサポートする国内ホスト校を募集し、チーム間の交流を促進します。

2006 FISITA Formula SAE World Cup

世界各国の自動車技術会が加盟するFISITAが主催して、日本(全日本学生フォーミュラ大会)、アメリカ(Formula SAE®)、イギリス(Formula Student)、オーストラリア(Formula SAE® Australasia)の優勝チームが一同に集まりワールドチャンピオンを決める大会です。今年の第4回 全日本学生フォーミュラ大会において栄えある第1回ワールドカップを併催することが決まりました。

大会スポンサー			
<p>【SSクラス】 トヨタ自動車</p> <p>【Sクラス】 日産自動車 本田技研工業</p> <p>【Aクラス】 マツダ ヤマハ発動機 スズキ 富士重工業 いすゞ自動車 VSN NTN 川崎重工業 ZF Japan ソフトウェアクレイドル ダイハツ工業 ミスミグループ本社 三菱自動車工業</p> <p>【Bクラス】 デンソー 日野自動車 サイバネットシステム ソリッドワークス・ジャパン アイシン精機</p>	<p>アルテアエンジニアリング エフ・シー・シー エムエスシーソフトウェア KYB シーメンスVDOオートモーティブ 大同特殊鋼 日産ディーゼル工業 日立製作所 ボッシュ ミクニ 三菱ふそうトラック・バス</p> <p>【Cクラス】 愛知機械工業 カルソニックカンセイ ケーヒン 豊田自動織機 トヨタ車体 ユタカ技研 愛三工業 アイシン・エイ・ダブリュ アイシン高丘 アドヴィックス 内山工業 小野測器 関東自動車工業 三五</p>	<p>ジヤトコ ジェイテクト ショーワ 住鋤潤滑剤 住友軽金属工業 住友電装 住友ゴム工業 大成社 大同メタル工業 ダイナテック ダッド 中央発條 テイ・エス テック dSPACE Japan 東京アールアンドデー 東京濾器 東日製作所 東洋ゴム トヨタテクニカルディベロップメント トヨタ紡織 豊田合成 日産車体 日信工業 日本特殊陶業 日本発条 フジオーゼックス</p>	<p>ブリヂストン プレス工業 ムラヤマ 山田製作所 ユニキャット 横浜ゴム</p> <p>【Dクラス】 愛知製鋼 旭硝子 アスモ ジェイアイ傷害火災保険 タイコ エレクトロニクスアンプ 大豊工業 TNO-Automotive ジャパン デンソーテクノ 東レ 日産テクノ 日本ガスケッ 日本ミシュランタイヤ パイオラックス バンドー化学 松井製作所 ミツバ 三菱自動車エンジニアリング 三ツ星ベルト</p>